

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時：令和5年6月30日（金）

9：30～11：30

場 所：松江市立持田小学校体育館及び周辺

対象者：同校6年生 47名

指導者：○6年部教職員

○島根県教育庁文化財課

古代文化センター（2名）

1. 主題（主題名）

遺跡・建造物・遺物から古代の技術を知る

2. ねらい

・学校周辺の遺跡や勾玉作りの体験から、古代の人々の生活や思いを知り、島根の歴史・文化に対する興味・関心を高める。

学習活動	指導者の支援及び留意点
9：30～9：45（15分） ①座学：はじめに～島根県の古墳時代～ ・学校周辺の古墳 ・古墳時代の玉作	・一方的な説明に終始せず、子どもたちが「気づき」「わかる」よう質疑応答の対話形式で進行 ・遺物については、実際に触れたり、近くで観察したりする時間を設定
9：45～10：00（15分） ②遺物見学	
10：00～11：20（80分） ③勾玉作り体験	
11：20～11：30（10分） ④まとめ	

検討課題：学習内容、順番、時間配分、優先順

3. 準備物等

- ・〔説明用具〕遺物、説明用パネル、ワークシート
- ・〔備品〕長机、ホワイトボード